

2.3GHz帯の国際状況や 利用シーンについて

2020年12月8日

ソフトバンク株式会社

2.3GHz帯のNR化 国際状況

- ◆ 当該帯域はLTEだけでなくNRとしても国際的に導入や検討が進んでおり
グローバル移動局などにも導入されつつある状況

<n40導入予定国>

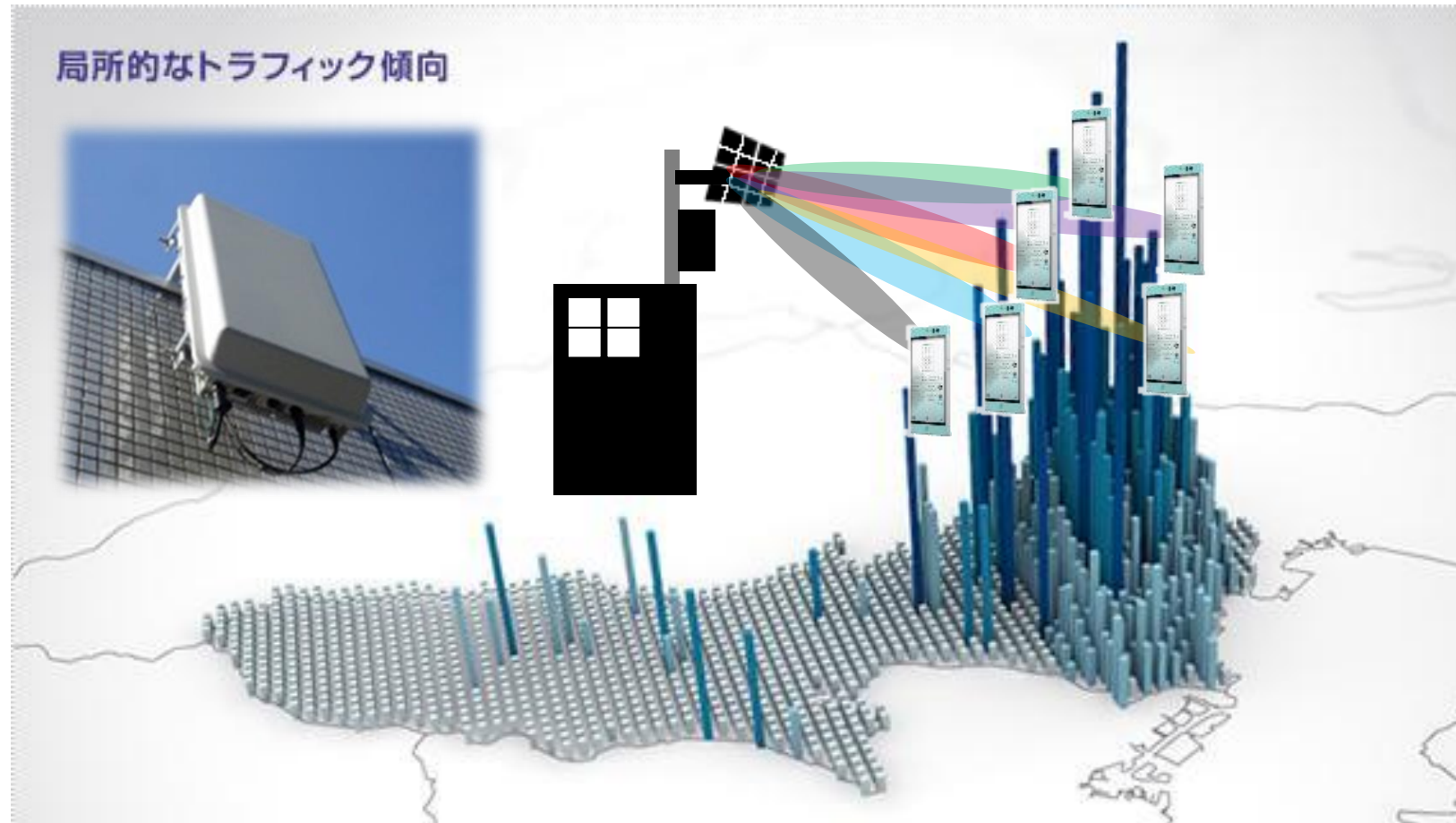
Optus（オーストラリア）：2020年中運用開始
スウェーデン/韓国/欧州など

ステータス	国・地域
NR化商用化	 オーストラリア
NR検討中	 スウェーデン  韓国  インドネシア  英国  ブラジル  サウジアラビア 他

※一部報道などを基にした当社調べ

アクティブアンテナの活用

- ◆ 2.3GHz帯は2.5GHz帯/3.5GHz帯と同様にTDD帯域であるためNR化に際してはアクティブアンテナの利用が効果的と想定



利用イメージ例

◆ 1次利用での利用形態と重複しないような利用シーンやエリアでの利用を想定

アドホック的共用

イベントや工事現場などで
スポット利用

可搬型基地局



イベント

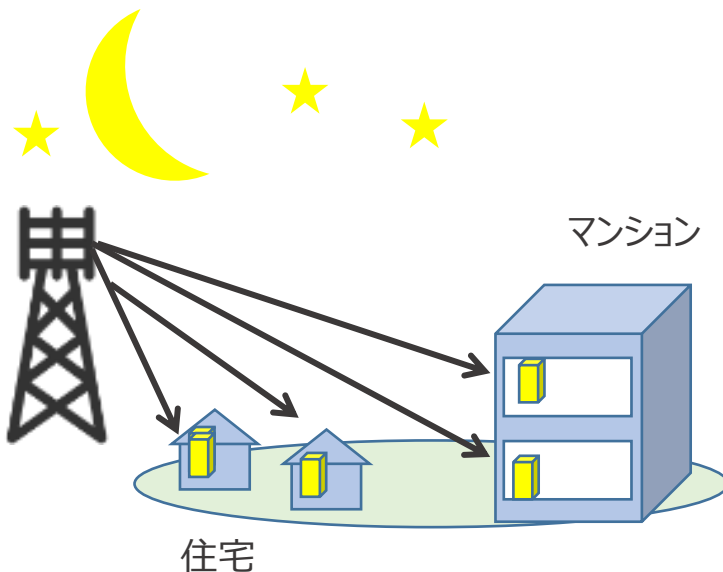


工事現場



時間的共用

夜間・深夜などにトラヒックカバー



場所的共用

地下や工場など1次利用での
利用率が低いエリアでの利用



工場



地下街

※ただしダイナミック停波時も他帯域でもカバーすることを想定

<参考> 2.3GHz割当国 (4G/5G)

39の国と地域、61事業者に2300MHzを割当

